

政策目標	3	活力みなぎる元気な街						
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致						
施策の基本方針								
<p>道都として北海道経済を牽引しながら経済活性化を図るため、札幌に強みがあり、新たな経済成長の原動力となる「食」「観光」「環境」「健康・福祉」の4つの重点分野を振興します。そのため、新たな融資制度「札幌みらい資金」や新商品開発への助成制度を創設するほか、道内自治体や経済団体との連携による「北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想」を推進します。また、これまでのIT・コンテンツ分野の蓄積を活かした産業の活性化や付加価値の創出を行うほか、戦略的な企業誘致を推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)					進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)	合計	
施策1 札幌市経済の成長を牽引する重点分野の振興								
	札幌みらい資金	46,708,000	779,683	5,883,873			6,663,556	14.3
	産業振興ビジョン推進補助	102,000	24,058	25,350			49,408	48.4
	6次産業活性化推進補助事業	104,000	17,430	24,300			41,730	40.1
	北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進	—	0	27,500			27,500	—
	健康サービス産業推進事業	40,000	7,551	8,700			16,251	40.6
	福祉産業共同研究事業	50,000	10,500	12,500			23,000	46.0
	札幌発の環境産業創出事業	60,000	0	20,500			20,500	34.2
施策2 札幌ならではの魅力を活かした新しい産業の創出								
	IT活用ビジネス拡大事業	24,000	0	8,100			8,100	33.8
	札幌コンテンツ特区構想の推進	—	0	44,300			44,300	—
	基幹系情報システム再構築事業	4,663,000	698,718	817,000			1,515,718	32.5
	スポーツを活用した札幌産業活性化事業	25,000	0	7,800			7,800	31.2
施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致								
	札幌圏みらいづくり産業立地促進事業	216,000	0	1,000			1,000	0.5
	札幌テクノパーク・リノベーション推進事業	200,000	0	152,000			152,000	76.0
	雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	558,000	120,940	194,640			315,580	56.6
施策4 道都としての役割を発揮し北海道の活性化に向けた道内市町村との連携強化								
	道内連携マッチング事業【再掲】	52,000	0	13,300			13,300	25.6
	6次産業活性化推進補助事業【再掲】	104,000	17,430	24,300			41,730	40.1
	北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進【再掲】	—	0	27,500			27,500	—
	札幌コンテンツ特区構想の推進【再掲】	—	0	44,300			44,300	—
	札幌圏みらいづくり産業立地促進事業【再掲】	216,000	0	1,000			1,000	0.5
	健康サービス産業推進事業【再掲】	40,000	7,551	8,700			16,251	40.6
	福祉産業共同研究事業【再掲】	50,000	10,500	12,500			23,000	46.0
	広域連携による観光振興【再掲】	13,000	1,000	4,000			5,000	38.5
重点課題合計		53,225,000	1,695,361	7,363,163	0	0	9,058,524	17.0

注: 事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	【札幌みらい資金】減: 景気低迷や東日本大震災等の影響を受け、新規融資が伸び悩んだため。
24年度	【札幌みらい資金】減: 23年度の融資実績を踏まえて予算額を見直したため。 【札幌テクノパーク・リノベーション推進事業】増: 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の早期推進のため、1年前倒しで実施したため。
4年間を通して	

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 札幌市経済の成長を牽引する重点分野の振興						
札幌みらい資金						
1 新規融資額(累計)	—	29億円				500億円
産業振興ビジョン推進補助						
2 重点分野開発推進事業の補助件数(累計)	—	5件				20件
6次産業活性化推進補助事業						
3 補助件数(累計)	—	5件				20件
北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進						
4 国際戦略総合特区の採択	—	採択 (23年度)				採択 (23年度)
健康サービス産業推進事業						
5 補助件数(累計)	—	4件				16件
福祉産業共同研究事業						
6 補助件数(累計)	—	5件				24件
札幌発の環境産業創出事業						
7 調査・研究件数(累計)	—	—				6件
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 札幌ならではの魅力を活かした新しい産業の創出						
IT活用ビジネス拡大事業						
8 マッチングによる契約成立件数	—	—				10件
札幌コンテンツ特区構想の推進						
9 コンテンツ特区の採択	—	採択 (23年度)				採択 (23年度)
10 ロケーションの誘致に基づく撮影日数	1,428日	1,402日				3,000日
基幹系情報システム再構築事業						
11 住記系システムの稼働	—	—				稼働 (24年度)
12 税・国保・収納・滞納システムの稼働	—	—				稼働
スポーツを活用した札幌産業活性化事業						
13 スポーツを活用したビジネスモデル創出数	—	—				20件
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致						
札幌圏みらいづくり産業立地促進事業						
14 当該事業による企業の新設・増設件数	—	—				8件
札幌テクノパーク・リノベーション推進事業						
15 改修後の技術開発室への入居率	—	—				80%
雇用創出型ニュービジネス立地促進事業						
16 事業所開設・増設件数(累計)	59件	67件				89件

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策4 道都としての役割を発揮し北海道の活性化に向けた道内市町村との連携強化							
道内連携マッチング事業【再掲】							
17	道内1次産業者、市内ものづくり企業への訪問件数(累計)	—	156件				1,120件
18	商談件数(累計)	—	67件				320件
6次産業活性化推進補助事業【再掲】							
19	補助件数(累計)	—	5件				20件
北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進【再掲】							
20	国際戦略総合特区の採択	—	採択 (23年度)				採択 (23年度)
札幌コンテンツ特区構想の推進【再掲】							
21	コンテンツ特区の採択	—	採択 (23年度)				採択 (23年度)
22	ロケーションの誘致に基づく撮影日数	1,428日	1,402日				3,000日
札幌圏みらいづくり産業立地促進事業【再掲】							
23	当該事業による企業の新設・増設件数	—	—				8件
健康サービス産業推進事業【再掲】							
24	補助件数(累計)	—	4件				16件
福祉産業共同研究事業【再掲】							
25	補助件数(累計)	—	5件				24件
広域連携による観光振興【再掲】							
26	圏域内連携事業数(累計)	—	0事業				3事業
27	中核都市連携事業数(累計)	—	1事業				3事業

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
42	産・学の連携により経営改善を図ろうとしている企業の割合	— (22年度)	16.9% (23年度)				20% (26年度)
		環境関連産業等の産・学が連携した研究開発の支援を進めているが、現段階では目標値に届いていない。					
43	IT・コンテンツを活用して高付加価値をつけようと思っている企業の割合	— (22年度)	13.3% (23年度)				15% (26年度)
		IT・コンテンツ産業と他産業の連携促進に向けた取組を推進しているが、現段階では目標値に届いていない。					
社会成果指標							
44	食品製造業の付加価値額	691億円 (21年度)	782億円 (22年度)				750億円 (26年度)
		「その他のパン・菓子」、「冷凍水産食品」「その他の水産食料品」の製造品出荷額の増加が、付加価値額増加に寄与したものと考えられる。					
45	市内食品製造業の輸出額	9億円 (20年度)	調査中				18億円 (26年度)
46	市内バイオ産業の売上高	270億円 (22年度)	調査中				430億円 (26年度)
47	誘致施策を活用し立地した企業数(累計)	53件 (22年度)	62件 (23年度)				90件 (26年度)
		コールセンター・バックオフィスを中心とした立地が進み、順調に推移している。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	札幌市経済の成長を牽引する重点分野の振興	
23年度の主な取組内容(実績)		
重点4分野に対する新たな融資制度として、「札幌みらい資金」を創設し、融資件数131件、融資額29億円を新規融資。	重点分野開発推進事業に採択された企業への補助を実施。	
6次産業に係る新商品開発に対する補助(5件)、道内1次産業者と市内2・3次産業者とのマッチングなどを実施。	北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区の採択(23年12月)。	
健康サービスの新たなビジネスモデルに対する補助(4件)を実施。	冬季安全安心対応型福祉産業研究開発への補助(1件)、新分野融合型福祉産業研究開発への補助(4件)を実施。	
24年度の主な取組内容(予定)		
「札幌みらい資金」の利率を1.9%(7年以内は1.7%)から1.5%に引下げ、重点4分野への支援を拡充。	重点分野開発推進事業に採択された企業への補助を継続実施。	
6次産業に係る新商品開発に対する補助、道内1次産業者と市内2・3次産業者とのマッチングなどを継続実施。	特区を推進する「フード・イノベーション創造支援事業」、「地域イノベーション戦略推進事業」を実施。	
健康サービスの新たなビジネスモデルに対する補助(4件)を実施。	冬季対応型福祉産業研究開発への補助、異分野連携型福祉産業研究開発への補助を継続実施。	
環境産業創出に係る大学等研究機関の調査・研究の委託を実施。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【産業振興ビジョン推進補助】5事業を重点分野開発推進事業に採択し、新製品・新技術の開発を支援することにより、IT・バイオ・食品製造分野の高付加価値化に貢献できた。</p> <p>【6次産業活性化推進所事業】農水畜産資源を活用した新商品開発に対する補助を実施したことから、『北海道の豊富な「食」の高付加価値化に向けた取り組み』に貢献できた。</p> <p>【福祉産業共同研究事業】医療・介護・看護・福祉分野における大学等の研究者が企業等と連携して行う共同研究を支援することで、「健康・福祉」分野における新たな産業の創出に貢献している。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【札幌みらい資金】今後成長が期待される重点分野に関連する中小企業者に対する融資制度を23年度に新設したことで、札幌の経済振興に寄与しており、今後は利率引き下げなどより利用しやすい環境づくりを進める。</p> <p>【北海道フードコンプレックス国際総合特区構想の推進】食・バイオ関連企業の一層の集積、食の高付加価値化の推進、海外への販路拡大の促進を図るため、特区関連事業に着実に取り組むことで、成果指標への貢献を目指す。</p>		
施策2	札幌ならではの魅力を活かした新しい産業の創出	
23年度の主な取組内容(実績)		
コンテンツ特区の採択(23年12月)。	「住記系システム」等の開発や税、国保システムの要件分析に着手。	
スポーツ産業発展可能性調査の実施。		
24年度の主な取組内容(予定)		
IT活用ビジネスセミナー、営業・企画・提案力研修及びビジネスマッチングを実施。	コンテンツ特区を推進する「ロケ撮影に係る撮影費」を助成。	
「住記系システム」の開発や税、国保システムの基本設計に着手。	サマー、ウィンタースポーツ部門についてコンテストを実施し、優秀モデルの事業に対する補助を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【基幹系情報システム再構築事業】地元IT企業の活性化・育成及び発注の実行により地元業者の参入機会拡大を図っており、IT・コンテンツを活用しようとする企業意識の向上に貢献できた。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【札幌コンテンツ構想の推進】特区の具体的な取組の実施によって、映像コンテンツの持つ効果が高まり、それを活用して高付加価値を付けようと思っている企業が増加するとともに、札幌の映像を観た人が国内外から観光に訪れることで、観光業や食品製造業の付加価値増加につなげていく。</p>		

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	2	札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	札幌の優位性を活かした企業の誘致	
23年度の主な取組内容(実績)		
コールセンターやニュービジネスの立地企業に対する補助、誘致活動を実施。		
24年度の主な取組内容(予定)		
先端産業の立地促進に向けた新たな誘致制度を創設。		札幌市エレクトロニクスセンターの一部をウェットラボ仕様へ改修。
コールセンターやニュービジネスの立地企業に対する補助、誘致活動を継続実施。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【雇用創出型ニュービジネス立地促進事業】積極的な誘致活動により、5件の新規立地があり、「誘致施策を活用した企業数」の増加に貢献できた。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【札幌圏みらいづくり産業立地促進事業】新たな誘致制度を創設し、先端産業へのインセンティブを強化することに加え、近隣自治体と連携した誘致活動を行うことで、企業に対して幅広い選択肢を示すことなどにより、札幌圏への企業立地を促進していく。		
【札幌テクノパーク・リノベーション推進事業】札幌市エレクトロニクスセンターの施設改修後には、関連企業への情報提供に加え、新たな入居企業である食・バイオ関連企業と既存のIT関連企業との交流による新たなビジネスの創出を促すなど、経済の活性化を図る。		
施策4	道都としての役割を發揮し北海道の活性化に向けた道内市町村との連携強化	
23年度の主な取組内容(実績)		
コーディネーターによる企業訪問及びニーズ調査、1次産業者と市内ものづくり企業との個別マッチングの支援。		6次産業に係る新商品開発に対する補助(5件)、道内1次産業者と市内2・3次産業者とのマッチングなどを実施(2件)
北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区の採択(23年12月)。		コンテンツ特区の採択(23年12月)。
道内中核都市周遊促進や観光PR、情報発信などを実施。		
24年度の主な取組内容(予定)		
コーディネーターによる企業訪問及びニーズ調査、1次産業者と市内ものづくり企業との個別マッチングの支援。		6次産業に係る新商品開発に対する補助、道内1次産業者と市内2・3次産業者とのマッチングなどを継続実施。
特区を推進する「フード・イノベーション創造支援事業」、「地域イノベーション戦略推進事業」を実施。		コンテンツ特区の推進に向け市内でのロケ撮影に係る撮影費を助成
先端産業の立地促進に向けた新たな誘致制度を創設。		道内中核都市周遊促進や観光PR、情報発信などを継続実施。
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【道内連携マッチング事業】1次生産者と市内ものづくり企業とのマッチングを図ることで、新製品等の開発を支援しており「新製品・新技術の開発や新分野の進出に取り組むと答える企業の割合」の増加に貢献した。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進】食・バイオ関連企業の一層の集積、食の高付加価値化の推進、海外への販路拡大の促進を図るため、特区関連事業に着実に取り組むことで、成果指標への貢献を目指す。		
【札幌圏みらいづくり産業立地促進事業】新たな誘致制度を創設し、先端産業へのインセンティブを強化することに加え、近隣自治体と連携した誘致活動を行うことで、企業に対して幅広い選択肢を示すことなどにより、札幌圏への企業立地を促進していく。		
協働の状況		
【6次産業活性化推進補助事業】補助事業の採択にあたり、外部有識者からなる審査委員会における審査を経て選定。		
【北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区構想の推進】企業訪問や地域協議会参画金融機関などを通じ、市内企業のフード特区制度の活用を推進。		
【産業振興ビジョン推進補助】広報さっぽろ及び札幌市HPに事業内容を掲載し、市民(市内中小企業)に広く事業への申請を募集。		